

作成: 芝崎

77. トラブル篇: 市営地下鉄のエレベータが降車口の2M 手前で急に停止

- (1) 今年 2/4 の新聞に上記トラブルの記事が有り。寒い 2/2 の 22:00 に 1 時間 40 分間エレベータ内に 4 名が(男性 3 名+女性 1 名)が閉じ込められた。よく見ると、毎日のように利用している最寄りの駅名でびっくり!! 2/1, 2/3 も乗っていた。たまたま 2/2 は天気悪く終日自宅、2/3 の乗車時には何も表示もなく、知らず通常通り利用。
- (2) 記事に、市で原因究明と記載あり、1 か月以上経っても原因の公表なく、駅に行き、原因判明したのか確認、担当部門(建設)に聞いてとのでそこに電話。課長さんに「原因判明せず、稼働したら、再発するのでは?」「人命に関わる事は慎重にすべきでは?」「さらに、原因分析の手法にはFTAというやり方あるけど、活用している?」→「知らない」との事でびっくり!!
- (3) 未公表だけど、速度検出装置(=エンコーダ)の内部のベアリングの摩耗粉が内部機器に付着し、エンコーダが正常に作動せず、この際安全回路が機能し、停止し、エンコーダを新品交換、正常に戻った、でもわかったなら、すぐ公表すべきと、やっと市の HP に対応状況を記載。でも、なんか半信半疑? これが真の原因ではないはず。本来は摩耗粉がどうして発生したかが問題では? 再度、電話。今回のトラブルをメーカと共にきちんと真の原因に基づいた対策、処置をトラブルシートに記載し、今後の再発防止につなげることで、今後のノウハウ/後輩へ伝達にもなるのではとその課長さんに伝える。

FTA は F:ファクト(事実)を知り、T: 木を想定し、いろいろとつながるトラブルの原因を分析(A)する手法で 不安(F)を与えず、きちんと対策(T)し、改(A)めないと事故は何度も起こる可能性があるよと警告。



小さい鳥籠(=エレベータ)に閉じ込められた 4 匹の鳩ちゃん(=4 人の方々)はとても不安だったと、寒い時期、回路よりもカイロが必要では、危機は機器の不良で発生したが、もっと早く対応できたのではと疑問が残る案件であった。



(備考) FTA=FAULT TREE ANALYSIS の略で故障の木分析: 原因不明の分析の手法
技術部門では原因不明のトラブルの際の基本的な解析手法の一つ。

(参考): FTA:FREE TRADE AGREEMENT 自由貿易協定とは異なるもの

以上